

金融機関による 「沖縄力 発見ツアーアー2013」 を実施



木川社長によるプレゼン風景



梶谷前局長によるプレゼン風景

内閣府は、平成25年6月9日（日）～6月10日（月）、県外の主要金融機関の方々に沖縄のボテン

シャル（沖縄力）

や特区等のビジネ

ス環境を見ていた

だく、沖縄力発見

ツアーアーを実施しま

した。ツアーアーでは、

単なる視察だけで

はなく、すでに沖

縄に進出している

企業から生の声を

お聞きいただき、

これから沖縄への

投資促進や新たな

産業界・金融界



冒頭挨拶する島尻政務官



ワーキングディナーにおける意見交換

との意見交換もしていただきました。



ワーキング・ディナー

沖縄力発見ツアーアーの初日（9日（日））は、県外から参加された18社の幹部の方々と、島尻内閣府大臣政務官、仲井眞沖縄県知事、県内経済界関係

者の方々との
間でワーキン

グディナーを
実施しました。

国際物流特区内施設・企業、那覇空港新貨物ターミナルビルを視察され、沖縄力を発見していただきました。



那覇空港新貨物ターミナルビル視察

ワーキング
ディナーを

国際物流特区進出企業との ディスカッション

官から、「本ツ
アーカーを契機と
して、我が國
の主要金融機
関と沖縄県の
産業界・金融

界とが互いに力を合わせ、投資促進や新たな産業
の創出・振興など、沖縄経済のますますの発展に
取り組んでいただけますよう祈念します。」と挨
拶がありました。

また、意見交換に先立つて、槌谷前沖縄総合事
務局長から「沖縄の経済特区」について、木川ヤ
マトホールディングス株式会社代表取締役社長か
ら、「国際物流特区で展開されるニュービジネス」
について御説明いただきました。

翌日は、沖縄の国際交流拠点、科学技術拠点と
して整備が進められている那覇港物流施設予定地
(物流特区)、沖縄科学技術大学院大学、うるま市



OISTでの説明風景



うるま市国際物流特区内施設・企業視察

うるま市国
際物流特区に
おいては、進
出企業と特区
進出のメリッ
ト・デメリッ
ト、県内にお
ける人材等に
ついて活発に

意見交換して
いただきまし
た。

進出企業か
らは、「当初、
東南アジアに
進出すること
も検討した
が、沖縄進出
後、東南アジ
アでの大洪水
や円安、カン

結びに

ツアーパートicipantからは、「沖縄の地理的優位性に
ついて再確認できた。」「物流に大変なポテンシャルがある」と感じた。「長寿や健康関連産業に興味
を持つた。」「我が国企業はアジア各国に海外展開
する流れがあるが、その選択肢として沖縄がある
ことが分かった。アジア各国との比較、沖縄の強
みや弱点の克服方法についての情報発信が必要で
は。」といった意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーデモを頂いた
様々な方々のアドバイス、お声を今後の取組にい
かしていきたいと考えています。



国際物流特区進出企業とのディスカッション

トリーリスクの顕在化
などがあり、
これらのリ
スクが回避
できた。」「ア
ジアに近い
沖縄は立地
がよく、納
期の短縮に
つながって
いる。」など
の話がありました。